

台風により養浜材が流されて岩盤が露出しました。
繁茂していた植物の土壌が流され浜崖ができました。

2025年8月13日 台風11号（ポードル podul）のうねりが弱くなった干潮時間に撮影。
七里ヶ浜駐車場東側階段下から東へ移動しながら撮影しました。以下の写真は時系列。



駐車場の護岸に沿って流れが入り、来る波とぶつかり合う階段下は露岩して、養浜材の下から真っ黒な砂が出ている。形成されたばかりの浜崖に垂れ下がる「コウボウシバ」





まっ黒な砂が出ている。



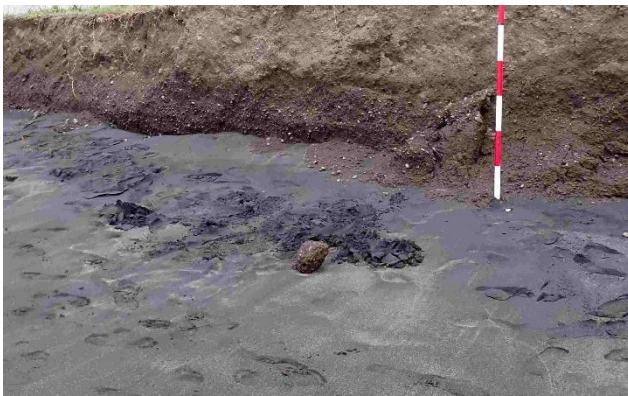
流木が台風時のドリフトライン



黒砂の上に割れ落ちた養浜材



浜崖の高低差が最大の場所



養浜材が流出。黒砂はここから出る。



養浜材の塊が転がっている。養浜材と周辺から湧き出す黒砂は混ざり合わない。



鎌倉市公園予定地（げんこつ）の東端。新鮮切りたて！な浜崖の下は地の黒砂だけが残る。
波浪時には前面の礫で碎波し、東からの並岸流が強い場所。
この先に見える浜崖の先に「辻川エリア」があるが、この角度からは見えていない。



黒砂に気泡の穴が無数に！黒砂の純度が高い証拠。礫はどこへ行ったのか？
生きたカニの穴の中から出た白い砂が今朝のドリフトラインを示すが、養浜材ではない。